

2018 vol.03 1/6 sat

関西学院大学大学院 言語コミュニケーション文化研究科

公開セミナー & 入試相談会

kwansei gakuin university

入場無料・事前予約不要

◎セミナー (13:00-14:20)

テーマ CALL研究を考える:
ひと・もの・ことの視点から

講 師 住 政二郎 (言語コミュニケーション文化研究科准教授)

◎入試相談会 (14:30-16:00)

大阪梅田キャンパスOC1004教室

大阪市北区茶屋町19-19 アプローズタワー10階

 関西学院大学大学院

言語コミュニケーション文化研究科

tel.0798-54-6180

www.kwansei.ac.jp/g_language



公開セミナー 2018. 1 / 6 sat (13:00-14:20)

入場無料
事前予約不要

大学院言語コミュニケーション文化研究科の教員による講演会「公開セミナー」を開催します。

セミナーの後は、研究科説明会および入試相談会を開催します。

どなたでも自由にご参加いただけますので、お気軽にご来場下さい。

●講演タイトル

CALL研究を考える： ひと・もの・ことの視点から

●概要

CALLとは、Computer-assisted Language Learningの略で、広義には外国語教育におけるテクノロジー利用を専門とする学問領域を指します。最近では、スマートフォンやタブレット、そして各種のSNSなど、私たちの生活は多くのテクノロジーに囲まれています。CALLは、こうしたテクノロジーを外国語学習または教育のために、どのように効果的に活用することができるのかを考えます。本講演では、CALL研究の歴史的変遷を踏まえ、「ひと・もの・こと」をキーワードに講演者の取り組む研究についてお話しできればと思っています。

●講師紹介



すみ せいじろう
住政二郎

(言語コミュニケーション文化研究科准教授)

専門は外国語教育学、教育工学。博士(外国語教育学)。人はどのようにして第二言語を学ぶのか、そして、そのプロセスに道具はどのように関係しているのか、という問いに関心を持っている。この広義の関心を教育機関のコンテキストに落とし込み、テクノロジーは外国語教育・学習をどのように支援することができるのか研究をしている。最近は、項目反応理論を利用した適合学習の外国語教育・学習への応用に取り組んでいる。

ホームページ <http://lang-tech.net/>

■主な刊行物

Sei Sumi (2015). Towards integration and normalisation of technology in the Japanese EFL context: An ecological perspective on foreign language teaching. Tokyo: Kinseido. / Sumi, S., & Takeuchi, O. (2013). The Cyclic Model of learning: An attempt based on the DBR in an EFL Context. In J. C. Rodriguez & C. Pardo-Ballester (Eds.), Design-Based Research in CALL (pp. 157-181). Texas: CALICO. / Sumi, S. (2011). Voices from EFL teachers: A qualitative investigation of teachers' use of technology. In M. Levy, F. Blin, C. Siskin, & O. Takeuchi (Eds.), WorldCALL: International perspective on computer-assisted language learning (pp. 293-312). NY: Routledge.

●会場アクセス

関西学院大学 大阪梅田キャンパス

阪急梅田駅 茶屋町口改札口より北へ徒歩5分。

大阪市北区茶屋町 19-19
アプローズタワー10階



www.kwansei.ac.jp/kg_hub/access/index.html

